



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただけます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

市豪雪対策本部設置！こんなときこそ家族の一員として…



2月4日（火）頃から日本を最強・最長寒波が襲いました。このことに伴い、尾花沢市では、5日（水）16:00に「尾花沢市豪雪対策本部」が設置されました。

市民の方々におかれましては、日々の除雪で大変お疲れのことと思います。

隣の町に住む私も、5時30分頃から、家族とともに道路や歩道を除雪してから出勤しています。そこで気づいたことは、除雪しているのは大人（それもほとんどが高齢の方）で、子どもを見かけない、ということです。もちろん、平日であれば、学校に行く準備もあり、除雪を手伝うことは容易ではないでしょう。それでは、休日はどうでしょうか？私の目には、休日子どもが除雪を手伝う姿を見ることはなかなかありません。そこで、おばねっ子へ提案です。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんが疲れた体におち打って、雪はきしています。家族を守るために必死なのです。**今こそ、家族の一員として除雪を手伝おう！**

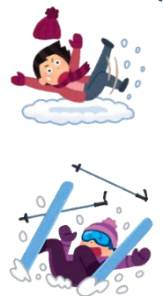
ただし、次のことに注意してください。【北海道伊達市 HP より】

- 必ず大人と一緒にやり、大人から言われたことを守りましょう。
- 軒下を通るとき、落雪・つららに十分気をつけましょう。
- 側溝や流雪溝に落ちないように十分気をつけましょう。
- 除雪機の側は絶対に近寄らないようにしましょう。
- 道路の除雪をしなければならぬとき、車に十分気をつけましょう。
- スコップなどを使うときは、周りに人がいないかを確認しましょう。
- 体調が悪いときは無理しないようにしましょう。雪はきで汗をかいたら着替えましょう。



関東地方に暮らしていた学生時代のことです。時折雪が降ると、雪の降らない地域から来た友はステンステンとおもしろいように転んでいました。私は、幸いにして転ぶことはありませんでした。また、スキー場に行ったとき、友が1日かけてやっと少し滑ることができるようになる一方、私はスイスイと楽しく滑ることができました。

私たちは何かの縁で、雪国に生まれました。だとしたら「雪国の暮らし方」「雪国の楽しみ方」をしっかり身に付けて社会に出たいものです。



■保護者の皆様へお願い

お子さんがお手伝いしたあとは「どうもな」「ありがとう」とことばをかけてください。

「ありがたい」は、「有り難い」、つまり「そうあることがめったにない」という意味からきています。雪はきなどのお手伝いが日常的に行われ、「有り難い」でなく「有り易い」(?)なんて言葉になったら楽しいですね。「いつもお手伝いしてくれて、有り易い」などと…

春の到来はもうすぐです。
もうひとがんばりですね。



【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330